事業番号 2023 - 文科 - 新24 - 0013

	令和5年度行政			度行政事業レビ	政事業レビューシート			文部科学省)			
事業名	医師の働き方改革に伴う大学病院改革緊急パッ					高等教育局		作成責任者			
事業開始年度	令和6年度 事業総 (予定):				F度	 担当課室	医学教育課				
会計区分	 一般会計	<u> </u>	(P.E.) -	+1%				<u> </u> 12	幸嗣		
根拠法令	良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するため の医療法等の一部を改正する法律(令和3年法律第 49 号) 関係する 計画、通知等 定)								令和5年6月16日閣議決		
政策	4 個性が	が輝く高等	幹教育の振興□								
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上 <u>主要経費</u> 教育振興助成費										
政策体系•評価書URL											
		大学病院が地域医療確保暫定特例水準が解消される2035年度末も見据え、働き方改革を進めながら、医師派遣を含めた診療を確保しつつ、教育研究機能を維持するため、中長期的に持続可能な運営体制を確保するための構造改革を行い、医師の働き方改革及び大学病院の機能維持の両立を図る。									
現状・課題 (5行程度以内)	他方で、プ また、若 研究機能 ・960時定) ・教育・研	大学病院が 医師にと の維持が を超える明 究・診療・	「質の高い医療や医療人っての大学病院の魅力に っての大学病院の魅力に 不可欠。 寺間外労働の総時間数・・	·10,877,304時間(令和4年 比率···教育:研究:診療:-	、教育(高度なほ た高度で先端は F度文部科学省	医療人材の育成 例な医療や臨成 を表託事業「大!	成)や研究(医療技術開発 末研究の実践等であり、均 学病院における医師の働	、創薬等)機能の維持も不 地域医療を支える大学病院 き方に関する調査研究報	可欠。 完の基盤維持のためにも教育 告書」(医師個人調査)を元 病院における医師の働き方に		
	本事業では、将来における医療人材の質の低下や国民が新薬や新たな医療技術を享受する機会を失わないように、大学病院に対して、社会に不可欠な機能維持のため、改革プランの策定を促すとともに、改革に向けた取組に対して支援を行う。 具体的には、業務効率化や地域の医療機関との機能分化等による「運営改革」とともに、「人員構造改革」、「教育・研究改革」に取り組んだ上で、持続可能な大学病院経営を実現するため「財務構造改革」を進めていく。										
事業概要URL	_										
<u>実施方法</u>	補助										
補助率等	-										
				令和2年度	令和3	年度	 令和4年度	令和5年度	令和6年度要求		
			当初予算(A)	_	-		_	-	12,000		
			補正予算(B)	_	_		_	_			
								_			
								_			
								_			
	予算の							_			
予算額•	状況							_			
執行額 (単位:百万円)		前年			_		_	_	_		
(インプット)			年度へ繰越し(D)	_	_			_			
			予備費等(E)	_	_			_			
			計(F)						10.000		
			+(B)+(C)+(D)+(E)	-	_		-		12,000		
			行額(G)	_	_		_				
	執行率(%) =(G)/(F)			_	-		-				
	当初予算	の害	予算に対する執行額 合(%) {(A)+(B)}	_	_		-				
		歳出	予算項•目	令和5年度当初予算	令和6年	令和6年度要求 主な増減理由(・要望額・			予備費)		
令和5・6年度	(項)		高等教育振興費				要望額:要求額のうち、	重要政策推進枠]12,0	00白万円		
予算内訳 (単位:百万円)		(目)	大学改革推進等補助金		12,0						
			てい。	_	0						

12,000

計(A)

	舌動内容① アクティビティ)	大学病院の改革プランに基づき、中長其	明的に持続可能な運営体制を確	怪はするため	かに構造改	෭革を行う大学	病院を対象に	、改革に向けた	た取組に対して	こ支援を	行う。	
活動目	▼ 標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込		年度 加見込	
	1	大学病院の改革プランの策定	改革プランを策定し大学病院 改革に取り組む大学数	活動実績 当初見込み	- 大学数	-	-	-	-	1	- 81	
↓		本事業は、医師の働き方改革及び大学病院の機能維持の両立という目的を達成するため、各大学病院がその実状に応じた運営、人員、教育・研究・診療、財務等に係る改革プランを策定し、取組を進めるものであるが、文部科学省としては、地域医療確保暫定特例水準が解消される見込みの2035年度末も見据え、960間を超える時間外労働の総時間数及び教育・研究時間について継続的にモニタリングしていくこととする。改革の成果は徐々に現れていくものと考えられることにら、まずは4年目までの目標水準を短期アウトカムとして設定した。										
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	栗年度 q	年度	
	期アウトカム)	各大学が自ら策定した大学病院の改革 プランに基づき取組を進め、960時間を 超える時間外労働の総時間数が令和4 年度委託調査時から25%減少する。	大学病院に勤務する医師の 960時間を超える時間外労働 の総時間数	成果実績 目標値 達成度	- 時間 %		- -		9 年 - 7,500,000 -			
根拠 計・ 2性的	データ名(出典)	令和4年度文部科学省委託事業「大学派各大学が策定する大学病院の改革プラ設定した成果指標のほか、各大学病院の	ン及びそのフォローアップ									
l	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	4年目までの成果に係る中間評価の結り 準を中期アウトカムとして設定した。	果を踏まえて、各大学病院の改善	革プランに	基づく取組	∄を一層改善・⁴	促進し6年目ま	゙゙゙゙゙でサポートす	るため、6年目:	までの	目標	
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 11	年	
従果目標及び成果実績 ①−2 (中期アウトカム)		各大学が自ら策定した大学病院の改革 プランに基づき取組を進め、960時間を 超える時間外労働の総時間数が令和4 年度委託調査時から50%減少する。	人子例院に割伤りる区間の	成果実績 目標値 達成度	- 時間 %	-	-	-	5,00	- 00,000 -		
根拠 計・ 2性的	データ名(出典)	令和4年度文部科学省委託事業「大学派各大学が策定する大学病院の改革プラ設定した成果指標のほか、各大学病院の	ン及びそのフォローアップ	する調査研								
ļ	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	地域医療確保暫定特例水準が解消され た。	る見込みの2035年度末に、960	0時間を超え	える時間外	▶労働の総時間	引数が「0時間」	になることを長	長期アウトカム。	として認		
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標昻	是終年度 17	度 年	
		 960時間を超える時間外労働の総時間	大学病院に勤務する医師の 960時間を超える時間外労働	成果実績目標値	- 時間	-	-	-		- 0		
		数が「0」になる。	の総時間数	達成度	%	_	_	_		-		
根拠 計・ 2性的	績及び目標値の 型として用いた データ名(出典) 的なアウトカムに ける成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病各大学が策定する大学病院の改革プラ		する調査研	T究報告書	<u>.</u>						
			アクティビティ①につし	いて定性的	なアウトカ	ムを設定してい	る理由					
		_										
ウトカ	」ム設定について の説明		アクティビティ①につ	こしてアウト	力人が海	数設定できた	ハ理中					
			77711710122	- U - C / - / F	カムル 後	※以下 こうぞん	在田					
		-										

		【再掲】大学病院の改革プランに基づき。 を行う。	、中長期的に持続可能な運営体	*制を確保す	するために	「構造改革を行	う大学病院を	対象に、改革	に向けた取組	に対して	支援
	\downarrow										
活動目標及び活動実績		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年. 活動!	
	② アウトプット)	【再掲】大学病院の改革プランの策定	【再掲】改革プランを策定し大 学病院改革に取り組む大学数	活動実績	大学数	-	-	-	-	81	1
1	設定理由	【再掲】本事業は、医師の働き方改革及療、財務等に係る改革プランを策定し、 え、960時間を超える時間外労働の総時ることから、まずは4年目までの目標水準	取組を進めるものであるが、文if間数及び教育・研究時間につい	部科学省と ハて継続的	しては、地	域医療確保製	定特例水準点	が解消される見	見込みの2035年	年度末も	見据
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度	年度
	期アウトカム)	各大学が自ら策定した大学病院の改革 プランに基づき取組を進め、令和4年度 委託調査時における教育・研究時間数 が維持される。		成果実績 目標値 達成度	- 時間 %	-	- -	-	1	3.1	
根拠 統計・ /定性的	データ名(出典)	令和4年度文部科学省委託事業「大学系各大学が策定する大学病院の改革プラ設定した成果指標のほか、各大学病院	ン及びそのフォローアップ								
1	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	【再掲】4年目までの成果に係る中間評値目標水準を中期アウトカムとして設定し		院の改革ブ	^プ ランに基・	づく取組を一層	『改善・促進し	6年目までサポ	゚ートするため	、6年目ま	ミでの
* = 0		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目相	票年度	年度
	期アウトカム)	各大学が自ら策定した大学病院の改革 プランに基づき取組を進め、令和4年度 委託調査時における教育・研究時間数 が維持される。	大学病院に勤務する医師の 週当たり教育・研究時間(1人 当たり時間数)	成果実績 目標値 達成度	- 時間 %	-	-	-	1	3.1	
根拠 統計•· /定性的	横及び目標値の として用いた データ名(出典)		ン及びそのフォローアップ	する調査研	I T究報告書						
1	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	地域医療確保暫定特例水準が解消されして設定した。	ւる見込みの2035年度末におい	ても、令和の	4年度委討	語査時におけ	でる教育・研究	時間数が維持	されることを長	き期アウト	カム。
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	最終年度 17	年度
	標及び成果実績 ②-3 #2-1 + / \	令和4年度委託調査時における教育・	大学病院に勤務する医師の	成果実績	-	-	-	-		-	
(長	期アウトカム)	〒和4年度安託調査時にありる教育・ 研究時間数が維持される。	週当たり教育・研究時間(1人 当たり時間数)	目標値	時間	-	-	-	1	3.1	
根拠 統計・ /定性的	績及び目標値の 型として用いた データ名(出典) 的なアウトカムに する成果実績										
			アクティビティ②につし	いて定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	いる理由				
		_									
アウトカ	」ム設定について の説明		アクティビティ②につ	いてアウト	カムが海	数設定できたし	ハ理中				
,			7771171615	, () ,) h	カムが後	※以下 こうない	性田				

事業に関連する	名称	-	
KPIが定められて いる閣議決定等	URL	- 	
	該当箇所		
		事業所管部局による点検・改善事業所管部局による点検・改善 	
点検結果		・本事業は、経済財政運営と改革の基本方針2023においてその必要性が明記されるなど、 政策の優先度が高い事業である。 ・補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認を行うな ど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減に努める。	
改善の 方向性		・事業の効率的・効果的な実施に努め、成果目標に見合った実績を創出する。 ・額の確定手続きにおいて、費目・使途の内容を厳正に精査し、支出の合理性・必要性につ	ついて適切にチェックする。
		外部有識者の所見	
外部有識者点検	対象外		
		行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程	及び所見
		事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること。	
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映	快状況
		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)に	おける取りまとめ
過去に受けた指摘事項と対応状況		上記への対応状況	
	1	関連する過去のレビューシートの事業番号	+
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度 平成26年度			
平成20年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			
令和4年度			

文部科学省 (12,000百万円)

各大学病院に対して、改革プランの策定を促すとともに、改 革に向けた取組に対して支援する。



【補助金等交付】

A.大学 (12,000百万円)

各大学が策定する改革プランに基づき、運営改革、人員構造改革、教育・研究改革に取り組み、財務構造改革を進める。

資金の流れ (資金の受け取り先が 何を行っているかにつ いて補足する) (単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において		A .	B.					
ブロックごとに最大の金額が支出されている者に	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
ついて記載する。費目と	_	-	_	_	-	_		
使途の双方で実情が分 かるように記載)	計		0	計		0		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載								